

まちの日記帳



交通事故防止へ誓い新たに 交通安全指導員出初式

1/30

平成29年の積丹町交通安全指導員会（的場無縫会長）の出初式が行われました。

当日は、美国神社で交通安全指導員による安全祈願の後、総合文化センターで式典を開催し、奥山副町長、余市警察署稗田副署長から感謝と激励の挨拶が、的場会長からは交通事故防止の誓いを新たに、交通安全宣言がありました。

また、式典では余市警察署稗田副署長から、「事件・事故の被害者遺族と加害者家族の悲慘さについて」と題した講話があり、交通事故により引き起こされる惨状の事例等を学び、交通事故防止へ気持ちを新たにしていました。



小型風力発電施設の設置候補地 地域住民説明会

2/1 ~ 2/3

（社）レジリエンスジャパン推進協議会の荒川弘明氏（東京都）を招き、現時点での候補地町内6地区（美国・幌武意・入舸・日司・野塚・余別）を対象に『「小型風力発電設置計画」地域住民説明会』が開催され、延べ64名が参加しました。

この説明会は、同協議会から小型風力発電施設の設置場所に町有地を借用したいとの要請を受け、国の設置許認可と北電の承認を得ることを前提としながらも、幅広く町民の意見を聞いた上で判断するために開催したものです。

出席者からは、「国の再生可能エネルギー拡大への協力は望ましい」、「当町の景観の大切さ考慮すべき」、「民有地の適地にも設置したらどうか」などの意見が出されていました。



“いい物” 当たって！

プレミアム商品券スタンプラリー抽選会

2/4

プレミアム商品券スタンプラリー抽選会が総合文化センターで行われ、家族連れなど多くの人で賑わいました。

この抽選会は、町商工会が販売するプレミアム商品券に付属していたスタンプカードにプレミアムスタンプ加盟店舗でスタンプを集めることで抽選を受けることができるもので、この日は522枚の応募がありました。

景品には、28社の協賛により、商工会振興券や加盟店賞など167本が用意され、名前が呼び上げられるたびに大きな歓声が上がっていました。



地域の食材を使って 入舸地区第2回成人学級

2 / 10

入舸地区第2回成人学級「料理体験」が入舸会館で行われ、11名が参加しました。

講師に、積丹町生涯学習推進サポーターで北海道フードマイスターの佐藤多美子氏を迎え、「オニオングラタンスープ」など地域の食材を活かした料理を3品作りました。

完成後の試食会で参加者からは「楽しく料理ができ、おいしい。」という声が多く聞かれました。講師からも「身近な食材を使いおいしい料理を作ってほしい。」と講評があり、参加者は家庭で身近な食材を使った料理を作ること

を約束していました。



自分だけの木のタマゴを作ろう！ 少年教室「親子ふれあい塾」

2 / 11

木でモノをつくる楽しさや喜びを実感し、人や自然に対する思いやりを育みながら、「木」への興味を高めることを目的とした「親子ふれあい塾」がB&G海洋センターで行われ、約30人が参加しました。

木育デザイナーで積丹GIN開発の提案者でもある煙山泰子氏を講師に迎え、「木と仲良くなるう！」をテーマに、同氏が制作した木のおもちゃの紹介や木の特色について学んだほか、エゾマツとミズナラの木を使って木のタマゴを作りました。

子どもたちは、自分に合った木を選び、紙やすりをかけたり、クルミの実のオイルを塗ったりと自分だけの本物そっくりの木のタマゴを作り、木とのふれあいを楽しみました。



“雪の事故”に備えを 冬山遭難救出救助訓練

2 / 15

北後志消防組合積丹支署（俵谷支署長・署員17名）は、野外スポーツ林スキー場で冬山遭難救出救助訓練を行いました。

この訓練は、スキー場の頂上付近で雪崩が発生し、人が巻き込まれたことを想定。消防隊員は、スキー場職員と連携し、雪上車で雪崩が発生した場所まで行き、GPS等を使って要救助者を見つけ迅速に救助、再び雪上車に乗り救急車で搬送するまでのものです。

訓練後、俵谷支署長は「事故はいつ起こるかかわからないので、日々訓練に励んでいきます。」と話し、緊急時に対する今後の訓練の重要性を話していました。

